

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年12月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678900194
法人名	インターナショナルホスピタルサービス株式会社
事業所名	グループホーム 美笠
所在地	鹿児島県奄美市笠利町中金久113番地1 {電話} 0997-63-2200
自己評価作成日	平成22年7月9日

福山紀子

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年11月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族会の皆様が協力的で、畑の作業や掃除等、積極的に声かけをして下さり、支えて頂いています。

また、地域の行事(お祭り・運動会・敬老会等)参加や学生達が遊びにきてくれたりして、地域との交流が盛んです。

また、利用者が一人で自宅に戻っても、協力医療機関の職員が声かけをしてくれたりして、利用者は地域の中で普段通りの生活を営む事が出来るホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・関連法人の医療機関と隣接しており、密接に連携を図り入居者の健康管理や救急時の対応などができることで、入居者・家族や職員も安心した支援や生活を営んでいる。

・家族会の協力により、事業所の周りにある畑の手入れがされて、利用者が野菜や果物の収穫を楽しんでいる。

・「全ての事を一緒に考え、共に生活してゆきます」との理念を、職員一人ひとりが利用者の家族であるとの思いで支援している。

・センター方式を導入中で、入居者毎の「気づきノート」への記録を行い、情報の共有を図っている。

・精神科医の指導のもと、ピック病の入居者支援について事例発表を行い、情報発信をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中で地域の方の協力を得ながら、その人らしい生活が営めるような理念を作っている。毎朝、職員は理念を唱和し、意識付けを心がけている。	利用者は家族の一員であり、人生の先輩である事を職員一人ひとりが意識し、毎朝理念を唱和している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事（運動会見学・敬老会・八月踊り等）に参加したり、中学生の職場体験学習の受け入れをおこなったり、運営推進会議に民生員の出席を依頼したりと交流を図っている。	地域行事に参加したり、利用者が散歩に出かけているのを見かけた地域住民から電話で連絡を貰ったり、学校からの職場体験を受入れるなど、地域との交流が日常的になされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	管理者がキャラバンメイトとして包括支援センターの依頼を受けて各集落に出かけ、認知症の方たちの理解や支援の方法をアピールしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見や要望等は職員会議で報告して、話し合い検討を行っている。	定期的実施される推進会議の内容は、職員会議で報告し、また議事録にて職員全員が確認している。評価結果を会議で報告している。行政関係の委員からは、「真摯に取り組んでいる」、家族会からは、「よくやっている」との声が寄せられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>高齢福祉課や包括支援センターの職員と連携を図り、情報収集に努めている。</p>	<p>スプリンクラー設置補助の情報を得たり、地域包括支援センターからのフォーラムの依頼があるなど、高齢者福祉課や地域包括支援センターの職員との連携や協力関係は築かれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の鍵は日中はかけずに職員の見守りで、自由の出入りが出来るようにしている。身体拘束はなく、また、拘束を行う場合は職員間で話し合い、ご家族の了解の下で実施するようにしているが今までは実施した事はない。</p>	<p>日中は玄関の鍵はかけずに、職員の見守りで自由に出入りができるようにしている。身体拘束はなく、拘束についての正しい理解は図られている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員会議等や勉強会で理解に向けた取り組みを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員会議や勉強会等、学ぶ機会を作り説明をおこなっている。また、必要な場合は対応をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所前にご家族へ施設の取り組み、金銭管理、理念の説明を行い理解して頂いて契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>居室担当を通して不満、苦情、相談等を聞き、ミーティングで話し合い検討している。</p>	<p>居室担当を決めて、家族からの相談や意見などが反映できるようにしている。専門医での受診要請など、出た意見・要望は職員会議で検討し、速やかに対応し、結果は家族にも報告している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>家族会や居室担当を通して常に離しやすい環境を作っている。ご家族が来訪時には職員に離しやすい雰囲気を作るように指導している。</p>	<p>職員会議で意見や要望を聞いている。業務改善の要望なども職員会で検討し改善している。管理者は個人面談などを行い、個々の要望にも対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各々、役割を持ってもらい意欲的に業務が遂行できるよう配慮している。勉強会等の参加を促し、質の向上を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>業務の一環として、勉強会や研修参加を実施している。参加後はミーティングで内容を他の職員に報告している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連の事業所等への研修や受け入れを実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の面談でご家族にご本人の生活状況等やご本人の希望や趣味以前の職業等の聞きいた上で、ご本人の趣味等を活かしたり、希望に添えるように取り組んでいる。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の困っている事や、入所生活への要望や期待等を担当職員を交えて聞く機会を設けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>状況に応じて居宅支援事業所や包括支援センター等を紹介して対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>理念の中に「私たちの先輩であることを理解する」とあり、教えて頂く事も多くあり、共に生活をしている意識を持って業務を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者のご様子や写真を毎月、ご家族に送付し、施設の新新聞発行の際も送付したりして、関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日頃から利用している美容室へ行ったり、墓参りに出かけたりまた、家に送ったり働きかけている	馴染みの美容室に行ったり、墓参りや自宅訪問など、関係継続の支援をしている。また、親しい人や知人へ年賀状・手紙を出したり、電話などの支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性の情報を職員間で把握し、共有している。また、関係がよりよく出来るような対応に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移ったり、入院されても訪ねていたり、ご家族からの相談にのったり継続した関係に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	行動や言動の中から、ご本人の思いを感じ対応が出来るように、職員会議で検討している。	日々のケアを通して、言動や表情の中から本人の思いなどを、気づきノートに記入し、皆で情報を共有し、ケアカンファレンスで、本人本位の支援ができるよう検討している。	センター方式の導入を推進中であり、職員への習熟が期待される。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や関係者から情報を得たり、ご本人から聞いたりしている。尋ねるときはプライバシーを配慮している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の「興味がある」ことや「出来る事」等を把握し、日々の生活に取り入れている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の要望や関係者からの情報を把握し、ご本人が負担にならないように、また、ご本人の可能な力を活かせることが出来るような計画作成を心がけている。	本人の意向を中心にしながら、家族・主治医・職員の意見を交えたプランを作成している。毎月の実施状況を確認し、3ヶ月毎にモニタリングを実施して、現状に即したプランになるよう反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の介護記録に記入して、職員間の情報の共有に留意し、居室担当者は評価を行い会議で検討を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族やご本人の状況に要望に応じて病院受診や墓参り、自宅へ送迎などを実施している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接病院や家族会、包括支援センター、地域の老人会、民生員の方達の協力を要請して、利用者が安心して暮らせるよう働きかけている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を取り入れながら、受診を行っている。	家族の意向にそってかかりつけ医の受診を支援している。また受診後の報告は必ず家族にしている。協力医が毎日のように事業所に立ち寄って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の看護師と連携を図り、健康管理や救急時の対応をしていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、医療機関、ご家族と情報交換を図り、事業所が出来る範囲での相談や対応に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族と話し合いを持ち、ご家族が望んでおられる終末期に添えるよう協力病院と連携を図り、支援できるよう取り組んでいる。</p>	<p>家族と話し合いを持ち、重度化や終末期に向けた方針を共有するようにしている。終末期は、専門性の高い延命処置をとらない程度の範囲での支援ができるように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>協力病院の勉強会や他の研修会に出席している。また、協力病院の依頼などの連携を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練の実施。協力病院や地域、家族会の協力を常に依頼しており、連絡体制も築いている。</p>	<p>避難訓練は、夜間想定を含め、年2回実施している。協力医療機関や地域・家族会の協力を依頼しており、連絡体制もできている。今までは、火災避難訓練中心であったが、今後は地震・水害等の避難訓練も予定している。自家発電・水・食料の確保は、常に行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
S					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の尊厳を尊重し、誇りやプライドを損ねる事がないように、介護職会議で指導している。	入居者の尊厳を守り「自分が言われたらいやな言葉は使わない」「自分が介護されたいと思うような支援をする」を根底に気配りしている。整容・食事・排泄の支援をする際は、さりげなく行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お一人お一人が、ご自分の思いを職員に話すことができたり、思うことが出来たりできるように支援をしている。	/	/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れはあるが、起床、食事入浴、入眠時間等、ご本人のペースで無理がないように対応している。	/	/
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定を尊重している。また、自己決定が出来ない方は、アドバイスやご家族の意向を聞き取り入れている。	/	/
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	朝、畑で一緒に収穫し、メニューを決め、作り方を聞き、お手伝いをいって頂き、職員も一緒に同じテーブルで食事している。	菜園で利用者と一緒に収穫した野菜で、作り方などを話し合っ て献立を決め、職員も一緒に食事をしている。栄養の片よ りが ないよう管理栄養士に1週間の献立を確認してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の観察やチェックを行い対応をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ずつ職員が対応をして口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、トイレ誘導をして排泄をうながしている。日中はなるべく綿の下着で対応出来るよう心がけている。	排泄委員を決めており、一人ひとりの排泄パターンを把握している。個々の状態に応じ排泄誘導をしている。日中は綿の下着で対応ができるようになり、自立への支援がすすみ、家族からも「オムツ代が減った」とか「皮膚疾患も軽減した」と喜ばれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材や水分摂取に留意し、また、管理栄養士等の意見を聞いて、便秘になさないように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	設低している日はあるが、入浴をしたい日、時間にいつでも入れるようにしている。	入浴をいやがる利用者は、友だちの声かけで仲間うちの入浴を楽しんでいる。安心して入浴するために、必要があれば、職員も一緒に入浴するようにしている。菖蒲湯など楽しみの支援もしている。	薬草や果物の皮など利用し、入浴が楽しくできる支援が更に進化することが期待される。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して入眠できるように、日中を活動的に過ごして頂けるよう支援している。なかなか寝付けない方は、職員がベッドと一緒に横になって対応をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に薬情を把握し、理解をしている、薬の管理や服用の際も、手渡し飲み込むまで見届けている。内服拒否がある場合は主治医に相談をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑の手入れや収穫、生け花等の得意分野での役割や、昔馴染みの島唄や踊りをレクリエーションに取り入れて楽しんで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近くのご自宅へ戻られたり、近隣の病院へ出かけたり、施設周辺へ散歩へ出かけたり、各々、楽しまれている。	日常的に散歩を行い、自宅や近隣に出かけたりして、それぞれ楽しんでいる。また外出機会をふやすために、お出かけイベントもしている。職員が買い物に行くときに、希望者はいっしょに外出するようにもしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族了解の上で財布を持たせています。希望があれば、その都度対応をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望で自ら電話をかけたり職員が対応を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花をいけたり、食堂から畑を眺め季節の作物を見届けたり、玄関入り口に季節の花を植えたりして季節を感じる工夫をしている。</p>	<p>玄関入り口には、ベンチでくつろげる場を設けている。共用のホールは、季節の花を生け、採光・通気もよく、地域の特色をとり入れた雰囲気づくりがなされており、居心地のよい空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂、廊下、玄関入り口にソファやベンチを設置して、各々が思い思い過ごすことが出来るように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には、家で使っていた寝具や衣類等を準備して頂いている。ご本人やご家族が希望するのもを自由に持ってきて頂き、過ごしやすいように配慮している。</p>	<p>本人が使用していた寝具や衣類・気に入っている写真やぬいぐるみなどで、居心地よく過ごしやすいように配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>「できること」「わかること」を把握し、職員会議で話し合い、職員が統一した援助をしている。また、「発見したこと」「できそうなこと」も検討し実施している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない